



式 辞

高島ロータリークラブ 会長 福 島 悟

本日は高島ロータリークラブ創立 50 周年記念式典を開催するにあたり、国際ロータリー第 2800 地区長谷川憲治ガバナー、高島町長 寒河江信様をはじめとする多数のご来賓の皆様、そして県内各クラブより多くのロータリアンの皆様のご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。クラブ会員一同を代表いたしまして心より御礼申し上げます。

昭和 42 年に 35 名の創立会員でスタートした我がクラブは、現在 51 名の会員数となり、着実に活動を続けながら今年晴れて創立 50 周年を迎えることができました。今日まで活動を継続することができたのも、本日まで出席いただいている皆様方からの温かいご支援とご指導の賜物と感謝申し上げます。

そして本日は当クラブの歴代会長 OB の方からもご出席いただいております。先輩会員の皆様が、より良いクラブ運営の在り方などについて考えていただきながら、結束し、努力を積み重ねてこられたことに対して改めて敬意を表する次第です。

今回 50 周年記念事業につきましては、プログラムに記載の通り、記念講演のほか、「高島統合中学校の校旗購入」及び「青少年育成事業」に対する支援をさせていただきました。

今年度第 50 代会長という大役を仰せつかってから、次の 10 年後、そして 50 年後の創立 100 周年はどのように迎えるのだろうか、といったことを思い浮かべました。おそらく第 100 代会長は現在の高島中学校の在学生、またはその前後の方が務めることになるのではないのでしょうか。その若い世代の方に成長いただき、立派な社会人となってロータリアンとして活躍いただくことが、我がクラブの 100 周年にもつながっていくのではないかと考えて、そのような思いを記念事業の内容に込めさせていただいたところです。

我がクラブで毎年の継続奉仕活動となっている特別養護老人ホーム「まほろば荘」及び「はとみね荘」との交流事業は、今年でそれぞれ 31 回と 17 回を数えました、また、平成 26 年と 27 年に実施した「震災避難者との家族交流会」は、初年度は 100 名を超える参加をいただくなど、クラブ会員自らのさまざまなおもてなしをととても楽しんでいただけたようで、今でも記憶に新しいところです。今後も地域の奉仕活動に取り組みながら、地域社会の発展のために努力し、さらなる 50 年に向けて精進してまいりますので、ご臨席の皆様にはなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。